



警察官や金融機関  
関係者等を装った

# キャッシュカード詐欺や カードすり替えの被害が増加



### ★ キャッシュカード詐欺の手口

警察官や金融機関関係者等を装った者にキャッシュカードを騙し取られたり、カードを偽物とすり替えられたりして、口座から現金が引き出される被害が増加しています。注意してください。

① 警察官や金融庁職員、銀行協会職員、銀行員等を名乗って電話をかけ、「あなたの口座が悪用されている」「キャッシュカードが不正利用されている」「新しいカードに交換する必要がある」と言いつて不安をおおる。

② その後、担当者を名乗る者が自宅に来て「カードを交換するので、一旦カードを預かる」と言い、さらに暗証番号を聞き出し、カードを受け取って持ち去る。

### ★ キャッシュカードすり替えの手口

① キャッシュカード詐欺と同様の電話がかかってくる。

② その後、担当者を名乗る者が自宅に来て「今のカードを止める必要がある。新しいカードができるまで、暗証番号を書いたメモと一緒に保管を」と言いつて、持参した封筒にカードとメモを入れさせる。

③ 「封印を押す必要がある」と言いつて印鑑を取りに行かせ、その隙に偽物のカードが入った別の封筒とすり替え、本物のカードを持ち去る。



### ★ 被害に遭わないために

☆ 警察や金融機関がキャッシュカードを預かったり、暗証番号を聞いたりすることは絶対にありません。

「キャッシュカードを預かる」と言われたり、暗証番号を聞かれたりしたら「詐欺!」です。

☆ この他、他府県では、一般社団法人全国銀行協会という名称で「元号改正に伴って、不正操作防止用のキャッシュカードに変更することになった。」という文書と銀行の支店名や口座の暗証番号などを記載する用紙が同封された封書が届き、一緒にキャッシュカードを送付するよう求める詐欺も発生しています。